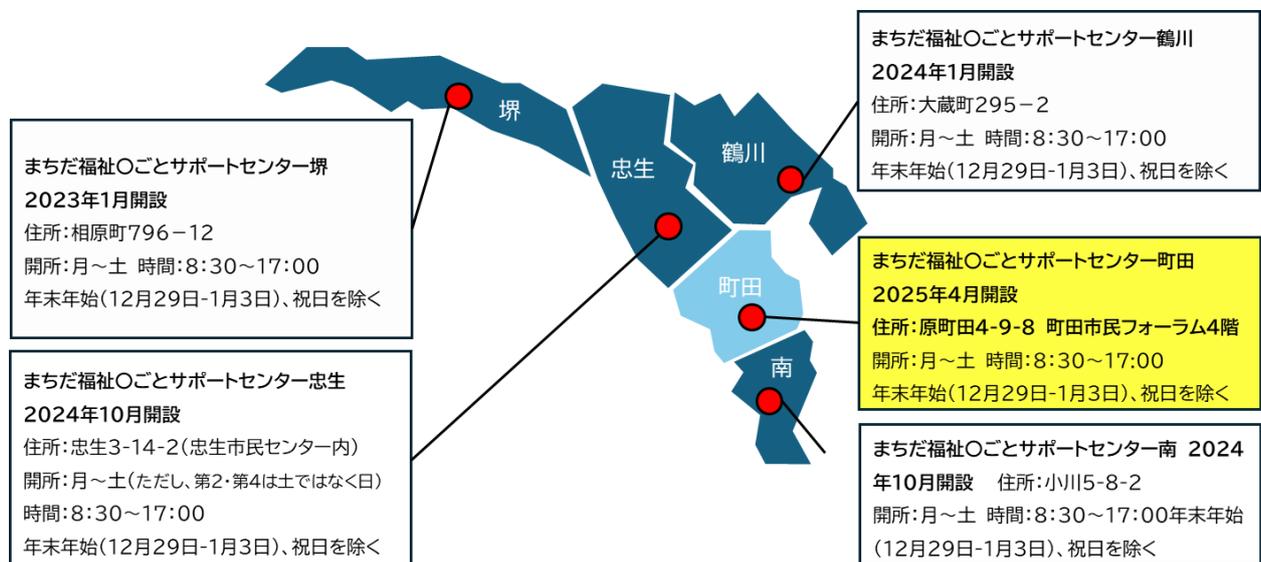


## 町田地域における「まちだ福祉<sup>まる</sup>〇ごとサポートセンター」の開設について

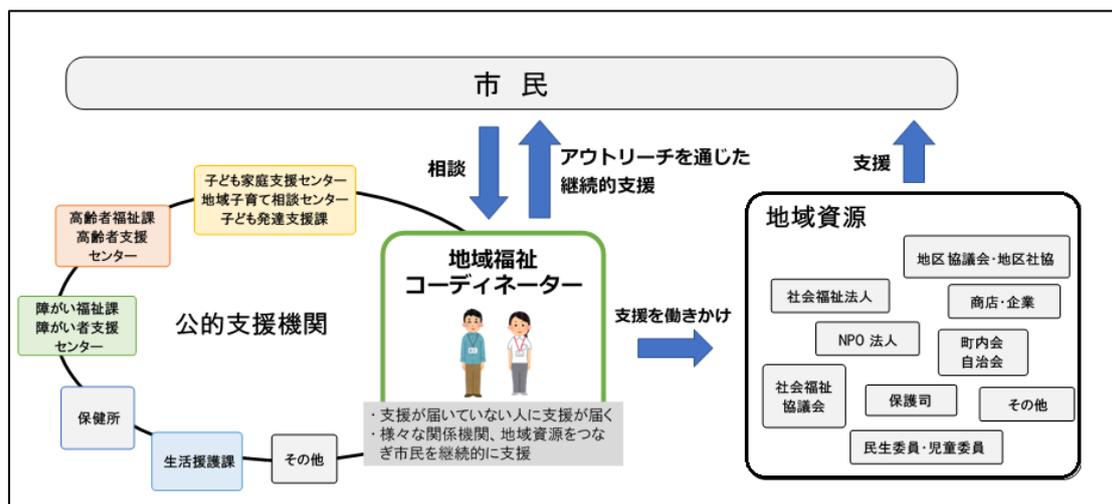
8050問題やダブルケアなど、複雑化・複合化した福祉の困りごとを抱えている方の早期支援につなげるため、堺及び鶴川、忠生、南地域に続き、2025年4月1日から「まちだ福祉〇ごとサポートセンター町田」を開設します。これにより、市内全域で、地域福祉コーディネーターが相談者に寄り添いながら、関係機関・支援団体とともに解決に向けた必要なサポートを推進していきます。



(図1)まちだ福祉〇ごとサポートセンター配置概観図

### 1 「まちだ福祉〇ごとサポートセンター」の業務

- (1) 包括的相談支援  
相談窓口を設置し、福祉の分野を横断した困りごと相談を受け付けます。
- (2) 社会参加支援  
NPO法人や民間事業者等との協働をもとに、相談者の社会参加を支援します。
- (3) 地域づくり支援  
相談者の社会参加に向けた、新たな地域ネットワークづくりを行います。
- (4) アウトリーチによる潜在的な相談者の把握  
相談を待つだけでなく、支援団体のネットワークへの参加や、見守りが必要と思われる方への個別訪問等を通じて継続的に関わり続け、地域における潜在的な福祉の困りごとを把握し、支援機関につなぎます。
- (5) 支援機関の役割分担の調整  
相談者のための支援会議を開催し、本人や家族が抱える課題を整理することで、各支援機関の役割分担の調整を図ります。



(図2)地域福祉コーディネーターの活動イメージ(2022年3月策定 町田市地域ホットプラン抜粋)

## 2 これまでの支援事例

- ① 地域活動団体から、ヤングケアラーだと思われる参加者がいるとの相談があったため、関係機関と支援の役割分担や支援可能な団体との連携方法などを検討した結果、本人が、子ども食堂に参加するなど、困ったことを相談できる地域の関わりを増やすことができました。
- ② 70代女性から、物忘れがひどい80代の夫と、15年ほどひきこもり状態にある50代の息子への対応方法について相談がありました。夫には医療機関を受診してもらった結果、認知症の診断を受けたため、高齢者支援センターに引継ぎ、介護保険サービスの利用につながりました。息子は、現時点では家族以外の方と関わりを持つことが難しい状況であり、長い目で関わり方を検討していくこととし、相談者にはひきこもり家族会を紹介しました。

## 3 事業実施手法 業務委託による実施 受託事業者は町田市社会福祉協議会

## 4 人員配置 各センターに4名配置(地域福祉コーディネーター2名、補助員2名配置予定)

## 5 設置住所 町田市原町田4丁目9番8号 町田市民フォーラム4階

※町田市社会福祉協議会執務室内

## 6 開所日時 月～土曜※ 8時30分～17時00分

※開所日は年末年始(12月29日～1月3日)、祝日を除く。

## 7 窓口名称 まちだ福祉<sup>まる</sup>ごとサポートセンター町田

## 8 事業開始日 2025年4月1日(火)

## 9 周知方法

- (1) 広報まちだ2025年4月1日号に掲載
- (2) 町田市ホームページ掲載
- (3) 町田市メール配信サービス及びX(旧 Twitter)で情報発信
- (4) 町田地域の町内会・自治会・関係団体への事業説明及びちらしの回覧